

2024年12月20日

## 関西国際空港 第1ターミナルビル 旅客サービス施設使用料（PSFC）の料金改定について

関西エアポート株式会社は、2025年4月1日（火）より、関西国際空港 第1ターミナルビルにおける旅客サービス施設使用料（PSFC）が改定となることをお知らせいたします。

PSFCは、当空港を利用するお客さまに旅客ターミナルビルをより安全かつ快適にご利用いただくため、出発・到着ロビーなどのサービスの提供、各種施設の整備・維持管理に充てられます。

今回の改定は、現在リノベーション工事中の関西国際空港 第1ターミナルビルが2025年春にグランドオープンすることに加え、近年のエネルギー価格、人件費などの諸物価の高騰に伴うものです。

関西エアポートグループは、これからもお客さまが便利に利用いただけるような施設運営を進め、より快適な新しい旅の体験を創造してまいります。

### ○ 料金改定日

2025年4月1日（火）

### ○ 対象および徴収方法

対象：2025年4月1日（火）以降、関西国際空港 第1ターミナルビルをご利用のお客さま

※ただし、2025年4月1日（火）以降に発券されたお客さまが対象

徴収方法：現行どおり。航空券を購入される際に、航空運賃と同時にお支払いいただきます。

### ○ 改定後の料金（消費税含む）

料金種別				現行料金	新料金	
PSFC	第1ターミナルビル	国際線 <sup>※1</sup>	出発	大人	2,780円	<b>3,310円</b>
				小人	1,390円	<b>1,660円</b>
			乗り継ぎ	大人	560円	<b>660円</b>
				小人	280円	<b>330円</b>
		国内線 <sup>※2</sup>	出発/到着	大人	440円	<b>560円</b>
				小人	220円	<b>280円</b>

※1 大人用航空券を使用する場合は大人、小人割引航空券を使用する場合は小人とします。

2歳未満の幼児は無料です。（ただし、大人用航空券を使用する場合は大人、小人割引航空券を使用する場合は小人とします）

※2 3歳以上12歳未満のお客さまは小人とします。（ただし、年齢が確認できない航空券を使用する場合は大人とします）

3歳未満の幼児は無料です。（ただし、航空券を使用する場合は小人とします）

上記記載の小人及び幼児の定義に当てはまらない旅客は大人とします。

### ○ 参考

今回の料金改定は、消費税引き上げによる改定を除き、第1ターミナルビル国際線については1994年の開港以来、国内線は2018年の設定以来となります。



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

1964年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約30カ国・地域において、約35,000人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。このPurposeを軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、13か国において70以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構